

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	一色 秀夫		
居室	西2-517		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hisshiki@edu.cc.uec.ac.jp	http://www.edu.cc.uec.ac.jp/ee/ic1/index.html

【主題および達成目標】
<p>この授業は、コンピュータに慣れ使いこなす事を目的とします。 リテラシー(literacy)とは、読み書きの能力のことをいう。電子メール、インターネットや文書作成、数式処理、を Unix と X Window という環境で勉強する。また、コンピュータ利用の倫理的側面も併せて学ぶ。 情報処理センターでワークステーションを用いて、UNIX環境における実践的なコンピュータの利用法とコンピュータによるコミュニケーションの基本的方法を学ぶ。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
<p>参考書：</p> <p>「キャンパス情報リテラシー」(昭晃堂) 千葉大学情報処理研究会編 「コンピュータリテラシ 情報環境の使い方」(昭晃堂) 東京工業大学全学情報科目実施委員会編</p>

【授業内容とその進め方】

(a)授業内容

UNIX オペレーティングシステムにおける、コマンドを理解し、電子メール、文書作成、グラフィックス、数式処理等の使い方を学習する。課題では、いくつかの問題を解く。内容は以下の通り。

1. 端末の使い方、X-Windowの使い方
2. 電子メール
3. UNIX
4. WWW 入門
5. 文書作成 (Emacs + LaTeX)
6. グラフィックス (GNUPLOT)
7. 数式処理 (Maple入門)

(b)授業の進め方

2クラスそれぞれの担当教員が、簡単な説明をしたあと、毎回提出される課題を行なう。場所は、1人1台の端末のある情報処理センター演習室で行う。

(c)授業時間外の学習

演習課題の結果をWWWまたは、電子掲示板にのせる。HPや電子掲示板をみて授業での連絡状況を把握することが必要である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

演習および試験の結果をつぎのように評価する。
成績評価 = (演習の評価点 × 80% + 期末試験の評価点 × 20%)

(b) 評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- (1) Emacsにより文書作成ができる。
- (2) 電子メールの処理方法を理解し、実行できる。
- (3) WWWを理解し、Webページの作成ができる。
- (4) LaTeXによる文書作成ができる。
- (5) 簡単なグラフ表示ができる。
- (6) 簡単な数式処理について理解できる。
- (7) コンピュータネットワーク利用上守るべき基本事項を理解している。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子掲示板(BBS)で受け付ける。

【学生へのメッセージ】

この授業は、コンピュータ・ネットワーク理解の第一歩です。
コンピュータにより文書作成と情報処理の基本事項を習得してください。
自主的・積極的な活動を尊重する。情報だけに頼って行動するのではなく、自分の力で理解することが望まれます。

【その他】

なし